

東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(3ヶ月以上1年未満)

2018年7月30日

東京大学での所属学部・研究科等:	経済学部	学年(プログラム開始時):	学部3
参加プログラム:	交換留学	派遣先大学:	シェフィールド大学
卒業・修了後の就職(希望)先:			
	1. 研究職		2. 専門職(医師・法曹・会計士等)
	3. 公務員		4. 非営利団体
	✓ 5. 民間企業(業界:コンサルティング)		6. 起業
	7. その他()		

派遣先大学の概要

イギリスサウスヨークシャー州シェフィールド市にある国立大学。イギリスの大規模研究大学グループであるラッセルグループの一員で、政治学、歴史学、システムエンジニアリング、ビジネスなどの分野に強い。シェフィールド市の市街がそれほど大きくないこと、シェフィールド大学が留学生を多く迎えていることから、キャンパス内及び市街共に非常に国際色豊かで学生が多い雰囲気が特徴。

留学した動機

国際政治の分野で発達している欧州で国際関係学を学びたいという思いが元からあった。また、アジアで生まれ育った身として、学生のうちにより文化の異なる人々の中に身をおき生活することで、多様な価値観に対する理解や体験をしたかった。

留学の時期など

①留学前の本学での修学状況:	2017年	学部3	年生の	S2	学期まで履修
②留学中の学籍:	留学				
③留学期間等:	2017年	9月~	2018年	6月	
	学部3	年時に出発			
④留学後の授業履修:	2018年	学部3	年生の	A1	学期から履修開始
⑤就職活動の時期:	2018年	学部3	年生の	6月頃に	行う予定
⑥本学での単位数:	留学前の取得単位			113	単位
	留学先で取得し、本学で単位認定申請を行う単位			24	単位
	留学後の取得(予定)単位			50	単位
⑦入学・卒業/修了(予定)時期:	2015年	4月入学	2020年	3	月卒業/修了
⑧本学入学から卒業/修了までの期間:	5年		0ヶ月間		

⑨留学時期を決めた理由:

進学振分け終了後で余裕があり、専門分野もある程度固まった時期なので、やりたい研究もはっきりしていた。

留学の準備

①留学先大学への入学手続き(手続きにあたってのアドバイスなど)

相手大学からメールや郵便で案内が届くので基本的にはそれに従えば問題はない。

②ビザの手続き(ビザの種類、申請先、手続きに要した時間、ビザ申請にあたってのアドバイスなど)

Tier4のビザを申請することになる。在日大使館は請け負っていないので新橋にある民間会社経由で申請することになるが、マニラ大使館まで書類を郵送する都合上時間がかかる上に費用もかなり高い、早めに手続きするのが良い。

③医療関係の準備(出発前の健康診断、常備薬、予防接種等)

特に必要はないと思われる。ビザ申請段階でイギリスの国民健康保険に加入させられる。

④保険関係の準備(加入した海外旅行傷害保険・留学保険等)

大学指定の保険のみ。

⑤留学にあたって東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続きなど(履修・単位・試験・論文提出等に関して)

学部で留学関連書類を提出して、ゼミの指導教官に許可を得た。3年から出発する場合、論文提出ができないため一年留年せざるを得ない。

⑥語学関係の準備(出発前の語学レベル・語学学習等)

IELTS7.5

⑦日本から持参した方がよいもの、その他出発前にやっておくべきこと・アドバイスなど

クレジットカード支払いが便利でレートも良いので、事前に予備も含めて作ると良い。

学習・研究について

①履修した授業科目のリスト(授業を履修した場合)

※そのうち、帰国後東京大学で単位認定の申請を行ったもの(又は行う予定のもの)に●をつけてください。

授業科目名	単位数	単位認定の申請	授業科目名	単位数	単位認定の申請
Applied Macroeconomics	20	●	Contemporary Chinese Politics	20	●
Global Political Economy	20	●			
International Relation Theory	20	●			
Applied Microeconomics	20	●			
Contemporary Security Challenges	20	●			

②留学中の学習・研究の概要(授業・予習・復習のスタイル、印象に残っている授業等)

授業時間数はそれほど多くはなく、基本的には指定された読み物などを用いた自己学習がメインとなる。

③1学期あたりの履修科目・単位数、週あたりの学習・研究時間(授業時間・授業以外の学習時間)など

1学期あたり60単位履修可能で、10単位と20単位の授業がある。一週間あたり授業は6回ほどで、推奨学習時間は40-50時間程度。

④学習・研究面でのアドバイス

交換留学生は所属学部にかかわらず授業が履修できるので、分野を横断して興味のある科目を履修すると良い。

⑤語学面での苦労・アドバイス等

教授によっては訛りが強く聞き取りに苦労した。

生活について

①宿泊先(種類(寮・ホームステイ・ルームシェア等)、家賃、宿舎の様子、見つけた方法など)

学校の公式ページにログインして寮に申請できる。寝室や浴室は個人だが、キッチンとダイニングは4-8人で共用。

②生活環境(気候、大学周辺の様子、交通機関、食事、お金の管理方法(海外送金・クレジットカード)など)

気候は急変しやすいが小雨である時が多い。大学から市街は近く歩いて3分ほど。坂が多いため基本的には徒歩通学。食事は自炊するか友人と外食。銀行口座も開いたが基本的にはクレジットカードがレートもよく使いやすい。

③危機管理関係(留学先の治安、医療機関の事情、心身の健康管理で気をつけた点など)

治安は特に懸念することはない。医療機関は無料だが予約が必要で非常に長く待たされるらしく、待っている間にほとんど治ると言われている。

④留学に要した費用について(航空賃、授業料、教科書代、家賃、食費、交通費、娯楽費などの概算)

・毎月の生活費とその内訳

食費4万円、交際費2万円、交通費1万円、宿泊費11万円

・留学に要した費用総額とその内訳

350万円(宿泊費100万円、食費100万円、交通費100万円、ビザ申請費など50万円)

⑤奨学金(受給していた場合は、支給機関・支給額・見つけた方法など)

学校から紹介されたJASSOの奨学金を受給した。

⑥学習・研究以外の活動(スポーツ・文化活動、ボランティア・インターン、週末や長期休暇の過ごし方など)

友人とスポーツをしたり、旅行をしたりして過ごしていた。

派遣先大学の環境について

①留学生へのサポート体制(語学面・学習面・生活面・精神面でのサポート等)

留学生向けの語学の授業がある。また論文を見てもらえる制度もある。

②大学の設備(図書館・スポーツ施設・食堂・PC環境等)

図書館は充実していて24時間利用可能。スポーツ施設や食堂もある。PCは図書館で利用可能。

留学と就職活動について

①(就職活動を既に行った場合)留学が就職活動に与えた影響、メリット・デメリットなど

海外選考が受けられる。

②(今後就職活動を行う場合)留学が就職に対する考え方に与えた影響

より国際的にキャリアを考えるようになった。

③留学中の就職活動への対策など(もしあれば)

④就職が決まっている場合は、差し支えない範囲で就職先をお知らせください

- | | |
|--|--------------------------|
| | 1. 研究職 |
| | 2. 専門職(法曹・医師・会計士等)(職名:) |
| | 3. 公的機関(機関名:) |
| | 4. 非営利団体(団体名又は分野:) |
| | 5. 民間企業(企業名又は業界:) |
| | 6. 起業(分野:) |
| | 7. その他() |

留学を振り返って

①留学の意義、留学を通じて成長したこと、その他留学を通じての所感

様々な価値観に触れられ、生活する中でどのように接するのが良いか学ぶ良い機会になった。また、学術分野でも日本であまり聞き及ばなかったことが多くあり、現地での課題や関心の在り方と問題への視点が非常に勉強になった。

②留学後の予定

東京大学に復学する予定。

③今後留学を考えている学生へのメッセージ・アドバイス

留学先では寮で生活して現地の友人と日々生活を共にするなど日本での生活と異なる点も多くあると思われるが、交友関係を広げ、様々なことに挑戦するための環境は整っているため、積極的に行動することでとても楽しい時間を送ることができるはずである。

その他

①準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト・出版物

②その他東京大学のホームページ・出版物等に掲載してよい留学中の写真があれば添付してください。